

登録コード	HM228201	開講年度	2026					
授業題目	成人保健学特別研究					担当教員	伊澤 淳	
英文授業名	Research Thesis (Doctor's) in Adult Health Science					副担当		
単位数	6	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	成人保健学ユニット／1～3年次	
講義室				授業形態	演習	備考	必須科目	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	(授業の達成目標)	
	2026HM保健学分野初, 2025HM保健学分野初, 2024HM保健学分野初, 2023HM保健学分野初							
	【研究科共通_2024年度以前初年度対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力					⇔	脳心血管病の背景となる各種の生活習慣病、動脈硬化性疾患や心不全等に焦点を定め、脳心血管病の発症や再発と関連する健康課題を探索し、新たな予防法を構築する研究の社会的意義を認識する。	
	【専攻】医学または保健学の研究に対する世界標準の専門分野における深い知識・卓越した技能					⇔	脳心血管病の発症や再発と関連する健康課題について、循環器病学のガイドライン等の知識と統計学的手法を活用して各種データを分析し、健康寿命の延伸に貢献する研究を推進する。	
(2)詳細 /Detailed information	成人保健学領域、特に脳心血管病の発症や再発の予防に焦点を定め、研究計画の立案、研究の推進、研究成果の発表により、医科学のエビデンスの構築に貢献する。 成人保健学領域における研究課題の設定、研究計画の立案、データ解析、学会および論文発表という研究活動を推進する。							
(3)授業の概要 /Overview of course	脳心血管病の発症危険因子である生活習慣病、動脈硬化性疾患や心不全等に焦点を定め、発症予防および再発予防に繋がる研究を目指す。 現在のガイドラインによるエビデンスレベルに基づいた実践とともに、脳心血管病の予防を目指した将来のガイドラインに繋がる提言を目指し、以下を到達目標とする。 1. 成人保健学領域の疾患に関する現状と課題を列举する。 2. 脳心血管病の発症危険因子となる病態の現状と課題を探索する。 3. 脳心血管病の発症および再発予防（一次および二次予防）に関する情報を分析する。 4. 自らの課題に関する最新の基礎および臨床研究の成果を探索する。 5. 研究テーマ・仮説および対象を設定し、研究方法を立案する。 6. 得られた研究結果から、追加すべき解析や検討を想起する。 7. 考察と結論をまとめ、研究を総括する。 8. 研究成果を学会および論文により発表し、市民公開講座等により一般に公開する。							
(4)授業計画 /Course plan	日時は受講学生と検討のうえ決定する。研究の進捗により所要時間は異なるが、項目ごとに複数回の指導時間に加え、相当程度の事前事後の自主研究時間を要する。 1. 文献情報を収集し研究テーマに関する現状と課題を理解する。 2. 研究テーマの領域で頻用されている最新の研究手法を修得する。 3. 研究テーマ・仮説・対象・必要サンプル数を検討する。 4. 研究計画を立案する。 5. 倫理審査を受審し、承認を受ける。 6. 研究を推進し、結果を評価して考察をまとめる。 7. 論文執筆および研究成果のプレゼンテーション（学会発表および学位論文発表会においてプレゼンテーションを実施する）。 8. 論文投稿。							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	個別指導における質疑応答、課題設定や仮説と検証、総括、学会抄録および論文の執筆、発表に至る研究成果を下記の評価項目の総合計点で評価します。判定基準は、90点以上：秀, 80-89点：優, 70-79点：良, 60-69点：可, 60点未満：不可。 <成績評価の基準> ・研究領域で権威ある英文雑誌に掲載される（30点） ・研究領域で代表的な和文雑誌に掲載される（20点） ・国際学会で発表する（20点） ・国内学会（学術集会等の総会）で発表する（10点） ・研究成果について十分に理解し、明確に説明できる（5点） ・研究内容について十分に理解し、成果を予測または説明できる（5点） ・研究計画が的確であり、研究の推進に必要な研究手法を修得する（5点） ・研究テーマに関するエビデンスを理解する（5点）							
(6)履修上の注意 ・事前事後学習 の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/ Reference work(s)	【履修上の注意】 参加できない場合は前日までに連絡してください。 【事前学習】 毎回の授業の最後に、次回までの課題を設定し、回目の講義の最初に意見発表や討論を実施します。 【事後学習】 回目の授業の最初で行う意見発表や討論において、前回の講義の内容について質疑を実施するので、復習をして授業に臨んでください。 【参考書・参考資料等】 循環器病の診断と治療に関するガイドライン（日本循環器学会ほか） https://www.j-circ.or.jp/guideline/guideline-series/ 欧州心臓病学会ガイドライン http://www.escardio.org/Guidelines 米国心臓協会ガイドライン https://professional.heart.org/en/guidelines-and-statements/guidelines-and-statements-search							

(7)質問,相談への 対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー（金曜日16ー17時）に伊澤研究室（保健学科中校舎4階）で面談またはリモートで相談に対応します。 担当教員のメールアドレス：izawa611@shinshu-u.ac.jp 面談等の時間帯の予約は、事前に候補日時をメールで複数提示していただき、日程の調整をお願いします。 研究室の電話番号：0263-37-3506
(8)授業の形式 /Course format	個別指導を中心として、課題設定（仮説），データ解析，文献検索と読解，考察，総括，研究発表に至るまでの医学・保健学領域の研究を指導します。 遠隔（リモート）での授業や研究指導を行う場合は、事前にZoomのアクセスID／パスワードを通知します。